

## 「食育推進のつどい」概要

- 1 日 時 令和7年6月10日（火曜日） 13:15～15:15
- 2 会 場 金沢広坂合同庁舎 1階 共用大会議室（第1部）  
7階 北陸農政局第1・2会議室（第2部）
- 3 内 容 第1部 第4回北陸農政局食育活動表彰 表彰状授与式  
第2部 北陸農政局長賞受賞者の活動紹介及び意見交換会
- 4 開催方法 第2部は、会場からオンライン（Microsoft Teams）により配信
- 5 出席者 第4回北陸農政局食育活動表彰 北陸農政局長賞受賞者  
新潟県 S-N For all children  
新潟県 新潟スポーツ栄養サポートグループ  
富山県 日の出屋製菓産業株式会社  
石川県 石川県漁業協同組合  
北陸農政局  
北陸農政局長ほか
- 6 参加者数 オンライン視聴回線数 52回線

### 7 概 要

#### （1）第1部 第4回北陸農政局食育活動表彰 表彰状授与式

管内（新潟県、富山県、石川県、福井県）の優れた取組を行っている食育関係者を表彰し、その活動を広く紹介することにより、北陸地域における食育活動を推進。

第1部では、第4回北陸農政局食育活動表彰において4団体に対し、遠藤局長から北陸農政局長賞を授与。



式辞を述べる遠藤局長



北陸農政局長賞受賞者記念撮影

#### （2）第2部 北陸農政局長賞受賞者の活動紹介及び意見交換会

第2部では、北陸農政局長賞受賞者の活動紹介及び意見交換を実施。

## ①活動紹介

○S-N For all children (以下「S-N children」という。)



団体名の「S-N」は、中村ゼミの「N」とスマイル及び斎藤先生の「S」をとったもの。小学校と連携し、栄養バランスの取れたキャラ弁を作る「弁当の日」を16年間実施。高校野球部の選手が引退後も自分で体の管理ができるようサポートしている。児童発達支援センター及び中高生を対象とした放課後等デイサービスでも食育を実施。今後も、すべての子どもと保護者に笑顔の輪が広がるような食育活動を継続していきたい。

○新潟スポーツ栄養サポートグループ (以下「栄養サポートG」という。)



23年前にグループを設立。メンバーは34名。毎月第2土曜日に定例会を開催し食育関係等について意見交換を実施。若者から高齢者までスポーツ栄養の知識や実践方法をわかりやすく伝えるなどの食支援や、クリニックでのセミナー及び新潟市中学校スクールランチ校に栄養士を派遣して食育指導を実施するなど多くの活動を実施。これからも夢を叶えるお手伝いをしていきたい。

○日の出屋製菓産業株式会社(以下「日の出屋製菓」という。)



毎年、4月10日のしろえびせんべいの日に県内保育園へおせんべいの配布や、第18回食育推進全国大会(富山県富山市)で富山短期大学と連携し富山の素材を使った新商品を販売するなど米菓を通して食に興味関心を深めてもらう取組を実施。また、食育授業やもちつき体験イベント、しろえびせんべい FACTORY での工場見学など多くの活動を実施。有機栽培に取り組む五箇山プロジェクトや米ぬかボカシ肥料を使用した「結いふあーむ」での野菜栽培など、環境に優しい自然循環型企業のモデルケースを目指している。

○石川県漁業協同組合(以下「石川県漁協」という。)



志賀町の保育園でおさかな学習会を開催し、地元の漁業や魚を教える活動を実施。小学校の出前授業では、煮干しの解剖を行い、「耳石」を通じて魚への理解を深める取組を実施。料理教室やさかな塾なども開催し、石川の魚食文化の継承に取り組んでいる。かなざわ総合市場では、漁業への理解を深めるために、セリ見学や模擬セリ体験を実施。今後も漁業士会などと連携し魚食普及活動を継続的に取り組んでいく。

## ②意見交換

### <関係者との連携>

- 栄養サポートG : おせんべいや魚などは、筋肉づくりにすごくいい食品。おせんべいの会社や漁業関係者とコラボができれば嬉しい。
- 日の出屋製菓 : 栄養サポートGの取組に感銘を受けた。富山や石川でも是非実施してほしい。スポーツの団体と商品開発という観点からコラボできると面白い。
- 石川県漁協 : S-N childrenの出前授業は、木崎小学校以外でも行っているのか。授業のカリキュラムとして取り組む際の教育委員会への手続き等について教えてほしい。魚の出前授業は難しいか。
- S-N children : 木崎小学校の出前授業は、前任の斎藤先生から引き継いで行っているため、教育委員会への手続き等については不明。木崎小学校は豊かな自然が多いところなので、どうしても野菜の方にフォーカスは当てやすいとは思いますが、小学校の場所によっては、魚でもやりにくいことはないと思う。力強いサポートがあれば、コラボは可能。
- Web 参加者 : 食育活動では、生産者や一次産業従事者など教育を行う側の方、また、学校関係者、地域住民など教育の対象となる方、これらの方の協力理解がいろいろな場面で必要であると認識しているが、このような方との関係構築で苦労された点はあるか。
- 日の出屋製菓 : 「みどりの食料システム」の取組で、行政や農業者などと連携して商品開発について検討した際、それぞれ考え方が違ったため、五箇山の農業公社に出向き、田植えや稲刈り等を通して密な関係を作った。また、夏祭りなどのイベント等を通して普段とは違う関係性を築いたということもあった。

### <食育の後継者>

石川県漁協 : 食育や魚食普及の取組は、本業ではないため後継者不足。皆さんの素晴らしい活動は、後継者へ繋いでいくことができているのか教えてほしい。

S-N children : 毎年学生が一定数入ってきており、私のゼミ以外にもいろいろな活動に興味を持っている学生が多いため、大丈夫だと思っている。

栄養サポートG : スポーツ栄養に興味のある若い栄養士さんが多いため、合間を見てグループへの勧誘を行っている。

日の出屋製菓 : 本業のラインから少し外れた食育活動等は、基本的に製造部門、販売部門、事務部門などの各部署から興味のある社員を誘う場合が多い。「結いふあーむ」も父の世代から自分の世代に受け継がれている。CSR※のような活動をする部署を最近作っており、本業から少し外れたような活動に、今後企業の価値が生まれると強く信じている。

※CSR（企業の社会的責任）：企業活動において、社会的公正や環境などへの配慮を組み込み、従業員、投資家、地域社会などの利害関係者に対して責任ある行動をとるとともに、説明責任を果たしていくことを求める考え方。

（厚生労働省ホームページより）

### <中高生等の食育>

S-N children : 中高生などへのアプローチで、企業からできる面白そうなアイデアがあれば教えていただきたい。

日の出屋製菓 : 貴団体（S-N children）と一緒に活動をやっている企業などとコラボしたり、お互いの現状を共有するなどしてはどうか。

S-N children : 女の子は魚の解剖をすると気持ち悪いなどの不快感を感じる場合があると思うが、そのような場合はどういう食育をしていけばよいか。

石川県漁協 : 食物連鎖の中で、どういったことが行われているかというところをしっかりと体験することで、食べ物、生き物への感謝がさらに強くなる。命が繋がれていっていることを丁寧に伝えながら食育に取り組んでいけばいいのではないか。

10年ほど前、350種類の「耳石」を集めていた子がおり、その子は自分の将来の目標をしっかりと持っていた。つまりお父さん、お母さんは350種類の魚をこの子に食べさせたということで、「耳石」集めは、食育と魚の消費拡大の両面で非常に良いと考えており、「耳石」に一番力を入れている。

### <まとめ>

局次長 : S-N children における取組は、幼稚園生から高校生、発達障害の子など様々な対象に応じたメニューで食育をきちんと伝えら

れている。

栄養サポートGにおける取組は、スポーツ栄養というジャンルでの食育の普及やバランスの良い食事、学校への栄養士の派遣など、様々な形で食育の知識を伝えている。

日の出屋製菓における取組は、田植え体験、工場見学など、五感を刺激するような形で食の大切さを伝えており、五箇山の自然や文化も併せて発信している。

石川県漁協においては、昨今、魚離れが進んでいる中で、小学校への出前授業等、様々な形で魚に関心を持ってもらうという取り組み。

どれも大変効果的な食育の取り組み。参加した子ども達や保護者の方々にとって貴重な経験になっていると考える。我々も皆様の取組を広く普及させ、より多くの方に食や農の大切さを伝えていきたい。

消費・安全部長 : みなさんの発表資料は、今後の食育を進めるにあたって、とても参考になるので、北陸農政局以外にも情報共有したい。意見交換においても幅広い意見が出たので今後の参考としたい。また、各地で様々な取り組みが行われているので、こうした情報発信も積極的に行っていきたいと考えている。引き続き皆さんのご協力をよろしく願いたい。



意見交換会の様子